



小中一貫・連携教育モデル校区の取組

「小中一貫・連携教育」を行うモデル校区として八幡東区の「中央中学校区」と「尾倉中学校区」の2校区を指定し、児童生徒の実態や地域の特色を生かした教育課程の編成や教職員組織の連携、教育効果等に関する検証等を行います。また、その成果と課題を全市に発信します。

小中一貫・連携教育モデル事業で目指すことは以下のとおりです。

- (1) 職員が連携し、小中ギャップの解消を図る。
- (2) 異学年や異なる学校種との交流を通じ、コミュニケーション能力の向上と相手の気持ちを考へて行動できる子どもの育成を図る。
- (3) 地域と連携した学校運営により、子どもたちが地域に見守られながら安心して育ち、成長し、将来の地域の担い手となる環境の整備を図る。

また、尾倉中校区、中央中校区に2校区共通の取組として、

- ① 小中学校の相互の兼務発令の実施(双方の教員が授業を行うことができる)
- ② 国型コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を活用し、地域と連携した取組の実施
- ③ 地域資源との連携を強化し、英語教育や国際交流、キャリア教育、SDGsの推進等の取組の実施
- ④ 隣接校区として小中の取組に加え、2校区合同事業や中中連携の取組の実施

を行う予定にしています。

ここでは、①について紹介します。9年間を通じたカリキュラム編成の一つとして、小中教員が各教科部会等において連携を図り、日常的に互いの学習・指導内容や児童生徒の学習実態の情報交換を行うとともに、「相互乗り入れ授業」を行います。

尾倉中学校からは、保健体育科 朴木 康平先生、理科 松本 里弥先生が年間350時間程度、皿倉小学校で授業を行います。

初めは、中学校の先生に緊張していましたが、徐々に慣れてきたようです。



北九州映画村体験会が北九州市のHPに掲載されます！

「学校通信第153号」で紹介した5月9日(月)に実施の尾倉中・皿倉小合同の北九州英語村体験会が北九州市のホームページに掲載されました。掲載場所は、北九州市教育委員会学校教育課のページです。ぜひご覧になってください。

なお、7月6日(水)に3年生が、11月25日(金)に1・2年生が北九州英語村で体験学習を行います。

北九州英語村 体験会に参加についての市ホームページ掲載について

- 1 掲載場所: 学校教育課ページ
- 2 タイトル: 北九州英語村(KGG)体験会に参加しました
- 3 本文:

5月9日(月)に皿倉小学校の6年生と尾倉中学校の2年生(計169名)が八幡東区東田に開館した北九州英語村(Kitakyushu Global Gateway[KGG])での体験会に参加しました。

海外のホテルやマーケットなどの雰囲気なか、外国人の先生とのコミュニケーションに挑戦しました。

始めは緊張している様子もありましたが、グループでの自己紹介やゲームなどを通して雰囲気に慣れ、プログラムでは積極的に英語でやり取りを行っていました。

テーマに合わせた学習を行い、2時間半の体験会が終了するころにはすっかり「英語モード」に切り替わっていました。

本年度は北九州市立の小・中・特別支援学校小学6年生から中学3年生の全員が北九州英語村で体験学習を行う予定です。

児童生徒が英語村での海外体験を楽しみ、また英語でのコミュニケーションへの興味・関心を高め、英語学習へのより一層の意欲の向上を目指します。

4 掲載写真

マーケットでの
英会話体験

ホテルでの
英会話体験

機内での
英会話体験

